

# 開花

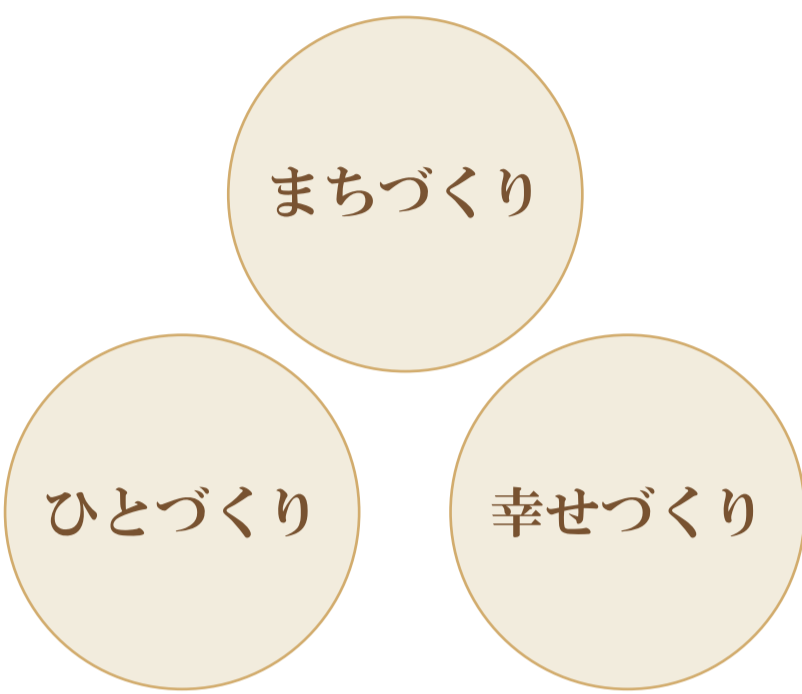
# まちの

坂越 厘沙

## 背景

おかやま桃太郎まつり「うらじゃ」は、毎年8月の第一土曜日と日曜日に岡山県岡山市の中心部で開催される。「うらじゃ」とは、岡山の地域・文化・歴史に根ざしたストーリー性のある、踊りを軸とした祭りである。県内だけでなく県外からも毎年多くの踊り子が参加する祭りとして岡山のまちに定着している。

「うらじゃ」は、岡山市民自らが中心となり、そのほとんどをボランティアスタッフが運営する市民参加型の祭りである。1994年にまちづくり・ひとづくり・幸せづくりのきっかけになればと始まった。



踊り子・観客・裏方が一緒になって踊る「総おどり」から始まったこの祭日も、年々その規模を拡大し、今では岡山市内中心部にそれぞれ特色を出し設けられる「演舞場」や、商店街・市役所筋公道を練り歩き群舞する「パレード」など、多くのコンテンツを持ち、岡山のまちを祭り一色に染め上げる。



市役所筋パレード (2023.08.20 筆者撮影)



総おどり (2023.08.20 筆者撮影)

## 計画敷地

計画敷地は岡山県岡山市北区の岡山市役所筋とし、図1の赤色で色を付けた3箇所に施設を配置する。

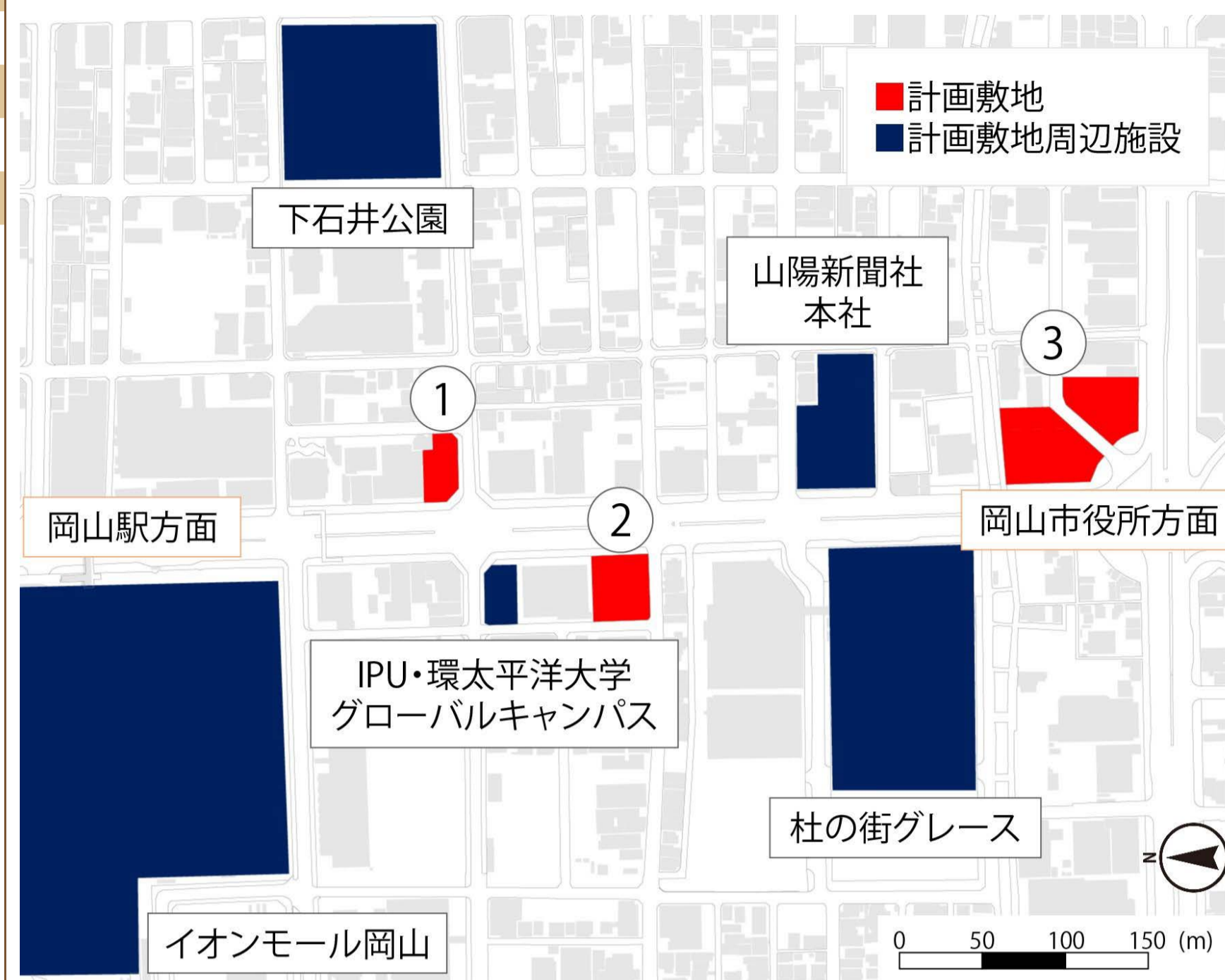


図1 計画敷地周辺図 (出典：国土地理院)

## 敷地調査

今年の第23回おかやま桃太郎まつり(第28回うらじゃ2023/ファミリーフェスタ)は8月19日(土)と20日(日)の2日間で行われ、69の踊り連による約3000人の踊り子と900人を超えるボランティア、32万人を超える観客を動員した。

岡山市役所筋のパレードは2日目の一日だけしか行われないことがわかった。祭り期間中パレードがない日の敷地周辺は屋台エリアやイベントスペースはあるものの、飲食スペースや演舞場が少ないと感じた。

また、岡山県総合グラウンドや岡山ドームなど、練習する場に適した広い空間があるものの、騒音などの近隣との問題によって、練習が制限されている区域がある。

これらのことから、人々が集まり、演舞場・練習場として利用できる空間が必要であると考えた。

祭り期間中の計画敷地周辺の様子は、図2のとおりである。



2023.08.20 筆者撮影



2023.08.20 筆者撮影



2023.08.20 筆者撮影



2023.08.20 筆者撮影

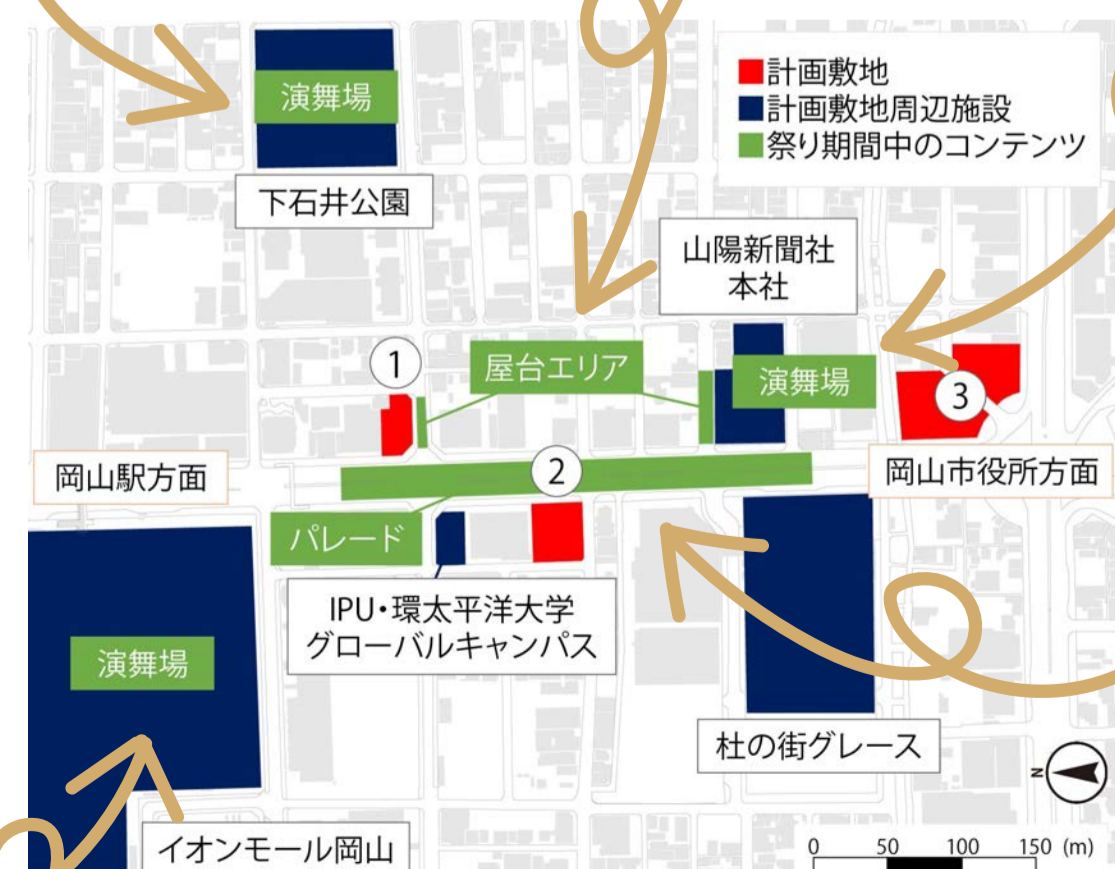


図2 祭り期間中の計画敷地周辺図 (出典：国土地理院)



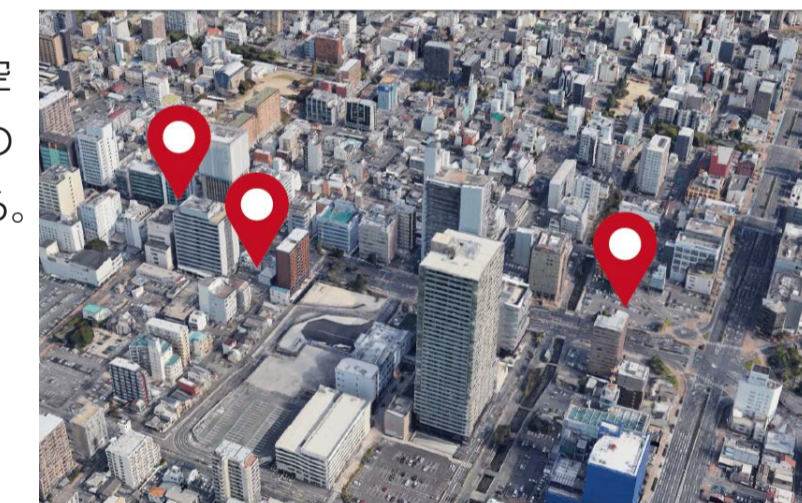
2023.08.20 筆者撮影

## 目的

祭りが開催されている期間だけでなく、開催されていないときにも岡山市民や観光客が集い交流し、「うらじゃ」という祭りの伝承につながる施設を提案し、通りを盛り上げることを目的とする。

## 計画方針

- 1) 人々が集まり、演舞場・練習場として利用できる空間を、通りの3つの敷地に点在配置することで、祭り際には点を繋ぎ、面一帯で「うらじゃ」を盛り上げる。
- 2) 祭りがないときも利用できる空間機能を計画する。
- 3) 空間機能は、以下のように「うらじゃ心得十箇条」を踏まえて、3つのキーワードをもとに、4種類の用途を組み込む。



出典：Google Earth

### うらじゃ心得十箇条

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 一 「誇り」をもつ    | 六 「思いやりの心」   |
| 二 「歴史・文化」を学ぶ | 七 「家庭」を大切にする |
| 三 「先人」に習う    | 八 「自然」と親しむ   |
| 四 「和」を学ぶ     | 九 「仲間」を信じる   |
| 五 「自責他尊」     | 十 「動く」       |

学ぶ

育む

繋ぐ



図書館



飲食店



うらじゃ資料館



貸しスペース

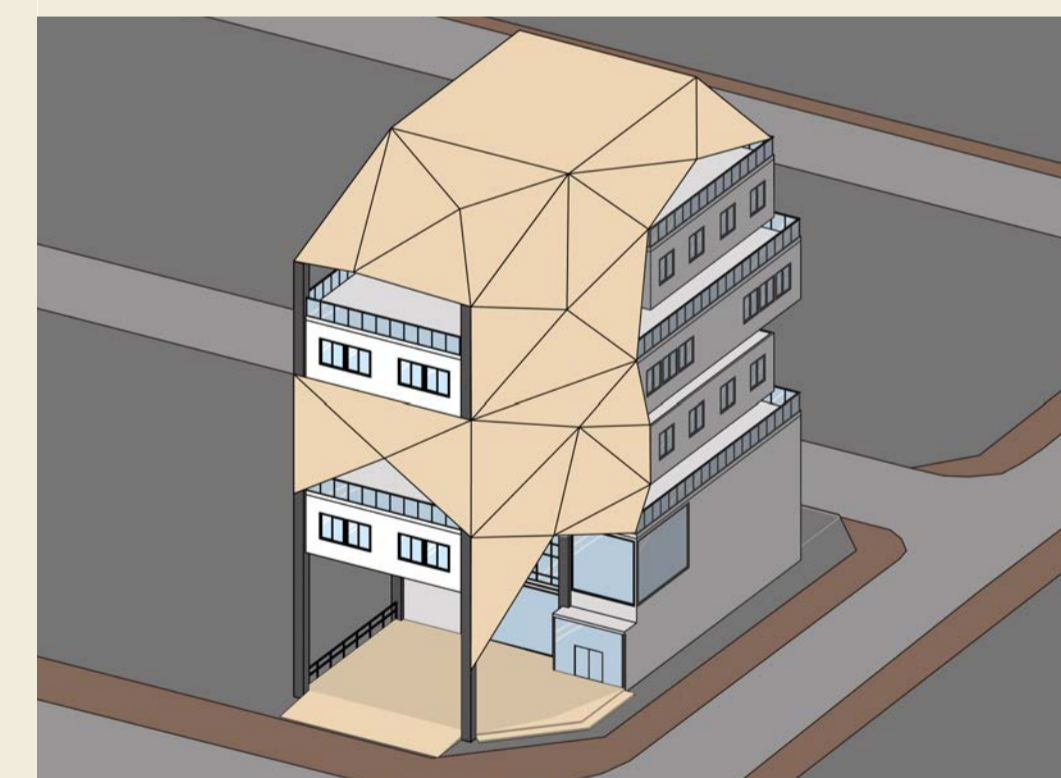


ゾーニング

祭り際には、演舞場・案内所・休憩スペースとして利用する。3階以上は講義室やフリースペースを計画する。講義室は日常的に会議室やセミナー会場として利用できる。また、5階のフリースペースは、ワーキングスペースや学習スペースとして、誰でも利用できる空間とする。



ダイアグラム



①の敷地に計画し、基礎となる建物の形はボックスをずらして上へと重ねる。

図書スペース



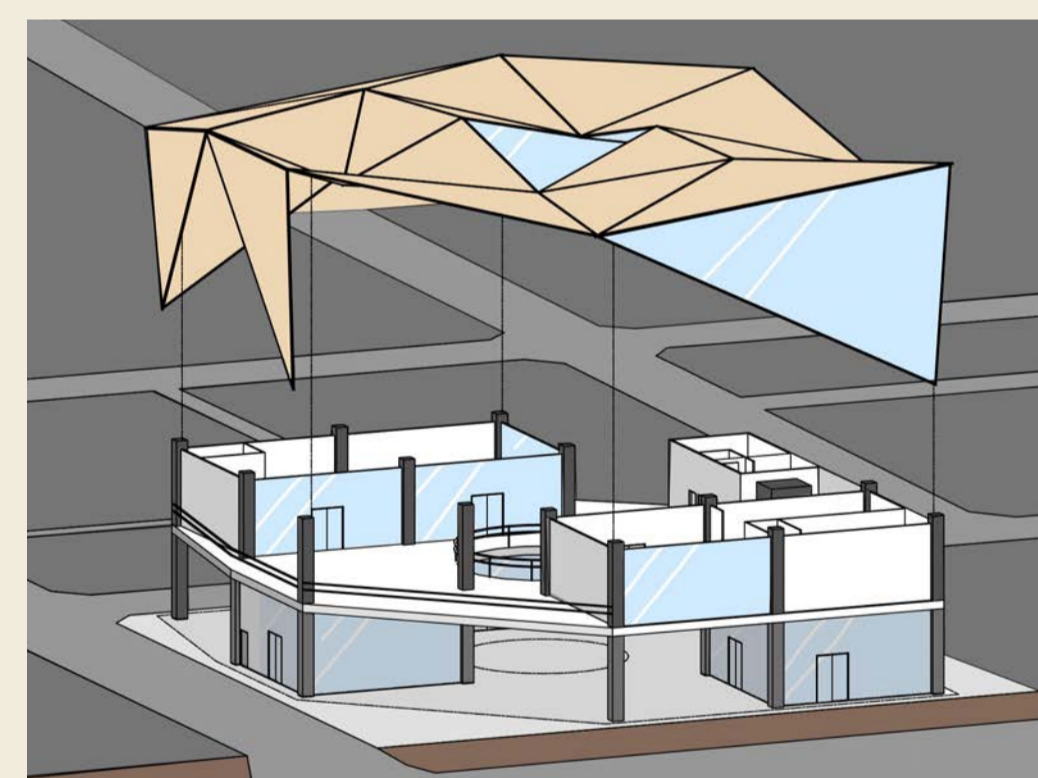
1、2階には大きな窓と吹抜けを設け、開放的な空間にする。ここでは図書スペース兼交流スペースとし、祭り際には案内所や休憩スペースとして利用する。



ゾーニング

1階に3店舗、2階に2店舗を配置する。中央部分に吹抜けを設ける。歩道からの流れを妨げないように店舗を配置し、1階は広場を中心に動線が一周するように設計した。また、2階にはバルコニーを設け、祭り際には、パレードを見ることができる観客席として利用する。

ダイアグラム



②の敷地に計画する。これらの店舗は独立して配置し、1枚の大きな屋根で覆う。

パン屋



作業が見える大きな窓を設置する。誰でも気軽にテイクアウトができるように1階に配置する。

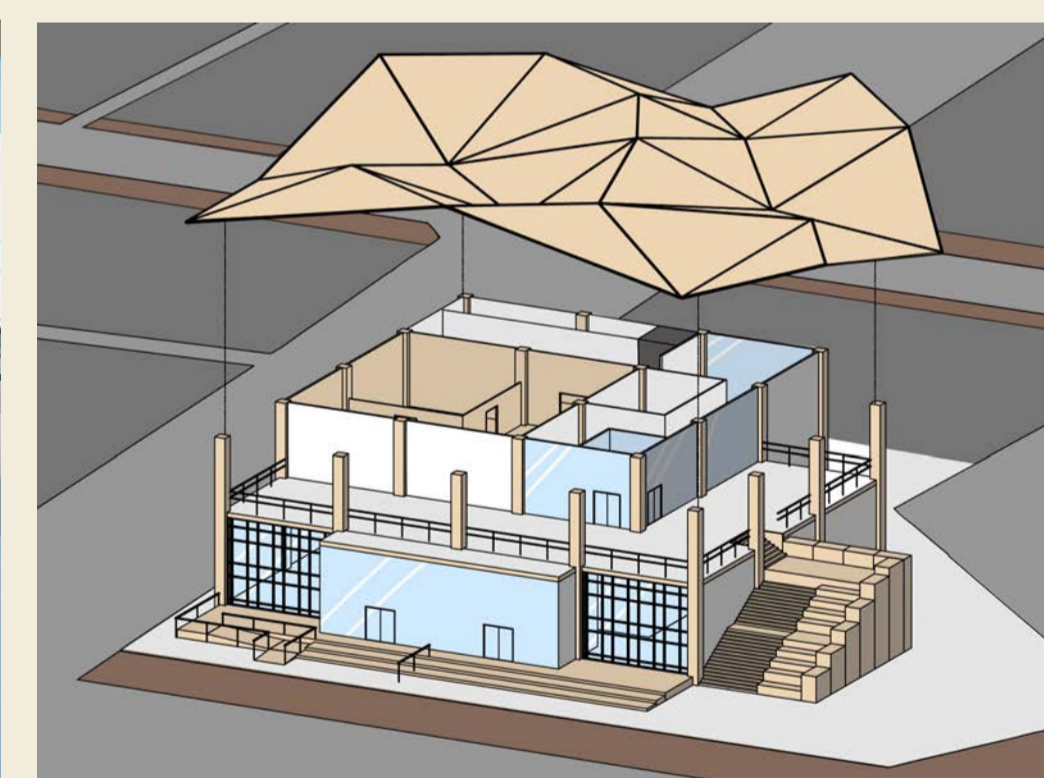


外階段には、階段の用途とくつろぎスペースの役割を果たす。座ることのできるスペースを作り、パレードをすることができる。

ゾーニング

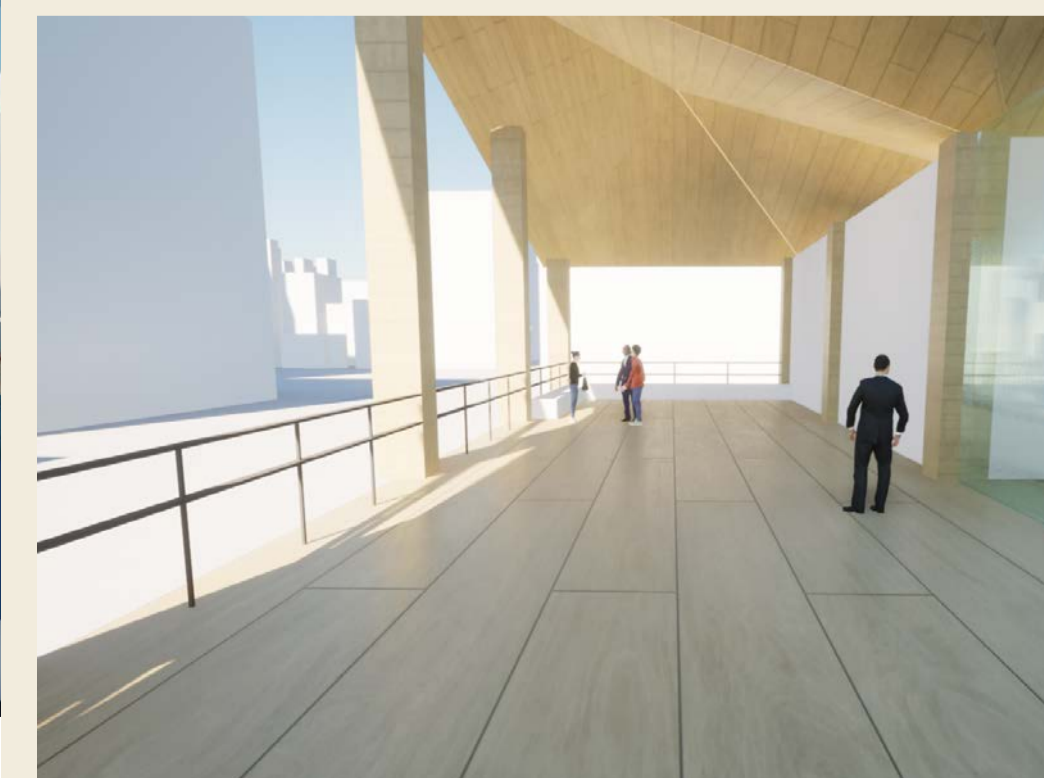
③の敷地のうち、中央を貫く道路の北側にうらじゃ資料館兼貸しスペースを計画し、南側に広場を計画する。うらじゃ資料館兼貸しスペースは、2階建ての施設とし、2階部分にうらじゃ資料館、1階部分に貸しスペースを計画する。資料館には「うらじゃ」の歴史や祭りの様子などを写真と共に展示し、祭りを伝承する施設とする。

ダイアグラム



建物のメインは大きな階段である。一度階段を上り、2階にあるうらじゃ資料館を経由し、1階の貸しスペースに降りるように動線を計画した。

2階バルコナ



バルコナからパレードが見えるように、市役所筋側にバルコナを設置する。



貸しスペース



主に誰でも利用できる施設とし、祭り際には演舞場として利用する。

広場



さまざまなイベントを行うことができ、祭りが近くなると練習場、祭り際には踊り子の待機場所として利用する。